

# 学習のポイント

じゅうよう じこう かくにん  
重要事項を確認しよう!



第1節

## 人間の多面的な理解と尊厳

### 人間を理解すること

- 人間の理解は、まず生活の営みの姿を知ることから始まります。生活の営みとは、日々の暮らしをつくっている現実の状況です。 → p.2
- 介護職には、人間の多面的な理解が求められています。 → p.2
- 生命への畏敬と尊厳は、人間の無限の可能性に対して生じます。このような生命への畏敬と尊厳をもちつづけていけば、現実の困難な状況においても、よりよく生きるという理念が失われることはないということです。 → p.3

### 人間の尊厳の意義

- 人間の尊厳とは、人間が個人として尊重されることを意味しています。 → p.4

### 人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯

- 人権は、自由権と社会権（生存権）に分けて考えることができます。 → p.7

### 人権、そして尊厳に関する諸規定

- 日本において、尊厳に関する諸規定の中心となるものは日本国憲法です。 → p.9

第2節

## 自立の支援

### 介護における自立

- 介護職に求められる自立支援は、自分でできるようにすることのみを目標に行うものではありません。 → p.12
- 介護職にとって重要なことは、自立か依存かの二者択一的な判断をしないということです。 → p.13
- 自立とは、他者の援助を受けるにしても受けないにしても、自分の行動に責任を負うことであり、みずからの能力に合った生活を自分で選択し、実践することです。 → p.14

### 自立への意欲と動機づけ

- 自立支援の意義は、介護を必要とする人の生活意欲を高め、その人らしい尊厳のある暮らしを支えることにあります。 → p.16

### 自立した生活を支えるための援助の視点

- 自立支援では前提として、まず行為・行動を本人が行おうとする意欲を高

しえん じゅうよう  
めるための支援が重要です。

→ p.18

第3節

## 人権と尊厳

### 介護における権利擁護と人権尊重

- 利用者一人ひとりが個々独立した存在であり、それぞれに独自の人生を現在進行形で歩んでいる人間であることをはっきりと認識することは、介護職としてもっとも重要なことといえます。 → p.24
- 介護職は、利用者がそれぞれの日常生活において、その主体者であるということを絶えず念頭におくことが重要です。 → p.25
- 介護職は、利用者の生活支援を通じて、その当事者や関係者の権利擁護のていしき じっせんりよく たか ないと手としての意識と実践力を高めていくことが求められているのです。 → p.29